



北海道ファミリーハウス

— NPO法人 —

北海道ファミリーハウス通信

2012年3月1日発行/No.9

発行: NPO法人北海道ファミリーハウス
 責任者: 事務局長 大西 可奈
 060-0807 札幌市中央区北7条西6丁目
 TEL(011)716-4161 FAX(011)716-4162

被災地、福島パンダハウスを支援

◆◆◆ 現地の要望を聞き取りタオル等を寄贈 ◆◆◆



パンダハウスのみなさん

昨年三月十一日に発生した東日本大震災等により、東北地方を中心に大きな被害が発生し、尊い人命が奪われ、多くの方が避難を余儀なくされる未曾有の大災害が発生しました。改めてお見舞い申し上げます。私たちは震災直後から北海道で入院治療される方の支援や物資の提供を決め取り組みを行ってきました。その中、福島市にあるパンダハウスにタオルや飲料水など物資を贈りました。



北大病院でジャグリングショーと

クリスマス会

入院中の子どもたちの笑顔づくり

昨年度に引き続き、北大病院体育館で、入院中の子どもたちのための「クロロ」さんを招きジャグリングショーを行いました。

クロロさんは、大道芸のコンクールでグランプリを獲ったことがある実力派、入院中の子どもたちとのトークも弾み心癒される時間を過ごしました。また、十二月には毎年恒例となっているクリスマス会を開催しました。



毎年恒例となったクリスマス会



演技を披露するクロロさん



パンダハウスから届いたお礼状

第十二回JHHHネットワーク会議

ファミリーハウス二十周年記念会を開催

昨年九月、東京で全国から一五〇名余りが出席し第十二回JHHH（ホスピタル・ホスピタリティ・ハウス）会議が開催されました。北海道から、南谷理事長と大西事務局長が出席し



全国会議の様子

各地の取り組み等について情報交換し改めてファミリーハウス運動の必要性を互いに確認する会議となりました。

また、全国会議の前日には、ファミリーハウス二十周年を記念しドイツ・ニールランドのホスピタリティについて研修会も行われました。

ファミリーハウス「大家会議」で意見交換

昨年十月、札幌市内でファミリーハウスを運営するオーナーの皆さんとハウスの運営や支援のあり方などについて意見交換しました。



大家会議に出席されたみなさん

今回の大家会議には初めて参加する方もおり、情報交換の場として喜んでいただきました。また、事務局としても会議で出された意見などを聞き、改めて積極的な広報活動が必要と感じる機会になりました。

「ご寄付をいただきました」

札幌信用金庫社会福祉基金 五万円
 心から感謝申し上げます

平成二十三年九月以降の活動をまとめました。